

ひきこもりの実態を把握しているか

町長 相談や情報提供がないと把握は非常に難しい



山下 清美 議員

問 内閣府が行った平成30年度「生活状況に関する調査」では、全国の40歳から64歳までの人口の1・45%に当たる61万人が、また、平成27年度に実施した15歳から39歳までを対象とした「若者の生活に関する調査」では、人口の1・57%に当たる54万人がひきこもり状態にあると推計されている。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

「8050問題」とは
「80」代の親が「50」代の子どもの生活を支えるという親子問題。背景にあるのは子どもの「引きこもり」で、こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが近年は目立ち始めている。

教育長 大ホールは、音楽、演劇、映画などの文化芸術に触れる機会となる場であり、町民がステージに立ち、さまざまな発表活動が行われる場でもある。大ホールを含め文化センター全体を文化芸術活動を活性化させる場として活用する。



今後の活用に期待の大ホール

町政を問う！ 一般質問

9月定例会では6人の議員が13項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは
議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。
清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



山下 清美 議員 9ページ

- ・ひきこもりについて
- ・芸術鑑賞事業について



佐藤 幸一 議員 10ページ

- ・旧しみず温泉フロイデについて
- ・JR十勝清水駅への特急列車停車増加要請と跨線橋対策について
- ・新保育施設周辺の車進入規制計画の策定について



奥秋 康子 議員 11ページ

- ・安心安全なまちづくりについて



鈴木 孝寿 議員 12ページ

- ・三流政策の清水町と表現される町長の今後の町政方針について
- ・給食費無料化の公約はいつ実行されるか
- ・デイサービス事業の現状について



中河 つる子 議員 13ページ

- ・難聴と認知症の関係から補聴器に助成を
- ・町から発送される文書の文字を大きくして読みやすくしては



川上 均 議員 14ページ

- ・公園の遊具整備及び公園活用による交流人口の拡大について
- ・社会体育施設（体育館前パークゴルフ場・町民野球場）の補修について

文化センター 大ホールの活用方針は 教育長 文化芸術活動を活性化させるために活用する

問 文化センターを平成30年度から2力年で大規模改修しており、今後の施設の活用は更に広がることと思うが、大ホールの活用方針をどのように考えているか。

教育長 幼児、小・中学生、一般向けの芸術鑑賞会のほか、映画会、ロビーコンサート等を実施しているが、より多くの町民に足を運んでいただけるよう芸術鑑賞会の機会を増やし、収蔵している絵画の展示などを行っていきたい。